

# 奔西走



個人質問に立つ東市議(9/13)



東 毅 議員

7月豪雨や北海道胆振東部地震など災害が相次ぎました。被害を抑え、住民が安全に避難できるようにどうするか、行政が「いま」やるべきことがたくさんあります。  
安心してくらせる南区をもとめ、9月議会で論戦しました。

## 災害弱者の避難に市は責任を

大雨による浸水は、家の2階など高いところへの避難が有効ですが、市が開設した避難所への避難が必要な場合もあります。

7月豪雨では学校の体育館に避難したものの、体が悪くて帰らざるをえない市民が出ました。空調や障害者用トイレのある福祉避難所にながなければなりません。東市議は、避難してきた人に福祉避



難所が必要な、市職員が把握することを求めました。市は「徹底させていきた

い」と答弁しました。体育館が2階にあるが階段でしか上がれない学校は市内に12あります。東市議は、避難の際におこった危険な事例をあげ、エレベーターやスロープの設置を求めました。市は設置自体を否定しませんが計画は未定です。車イスを持ち上げやすくする補助具(上写真)があるとも言いますが、6つだけです。

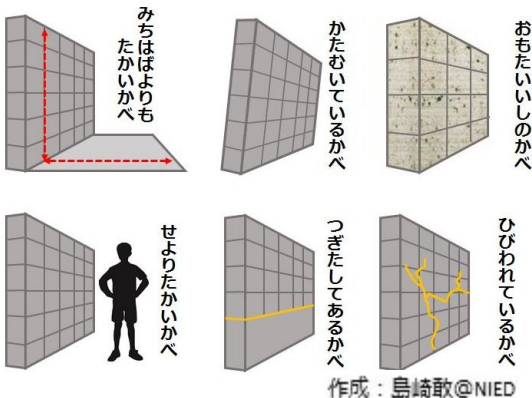
### 塀、校舎など 地震倒壊に対策を

大阪府北部地震では塀の倒壊による犠牲者が出ました。東市議は市有施設の調査と危険な塀の撤去

を急ぐこと、民間の塀撤去への補助制度を提案しています。市は研究するとしています。

また、耐震化した学校でも渡り廊下など調査対象外の施設があることが明らかになりました。東市議は耐震化とともに、防災科学技術研究所の島崎敢さんが公開している危険チ

ちかづかないほうがよいかべ



作成: 島崎敢@NIED